

「ねむろ味覚観光大使」に、演歌歌手の山内恵介氏、首都圏で根室食堂を展開している平山徳治氏、元根室高校教師でネムロ・ホット・ジャズ・クラブ創立メンバーの森田俊一氏が選任。

海鳥の繁殖地「ユルリ・モユルリ島」周辺を遊覧して野鳥観察を楽しむ、「落石ネイチャークルーズ」が運航開始。(写真③)

ベトナムへの根室産サンマの輸出推進のため、市と根室商工会議所、水産協会、4漁協で組織する「根室市アジア圏輸出促進協議会」が設立される。

根室開港100周年記念式典が総合文化会館で開催され、重要港湾根室港の1世紀にわたる歩みを振り返る。(写真④)

明治公園を桜の名所にと進められている「さくらの森づくり」事業の植樹が最後を迎え、市民との協働で行った植樹等の桜の総本数が1、300本となる。(写真⑤)

根室市町会連合会会長の長谷川敬二氏が、道東から初の北海道町内会連合会会長に就任。市営住宅光洋団地のヒゲマ出没により、初の「箱わな」を設置。

地元水産業者を含めた産学官

連携による新産業の創設を目指す、根室市と東海大学海洋学部との「相互協力協定書」の調印式が行われる。

口蹄疫対策の一環として市と根室市家畜自衛防疫対策協議会は、市役所、JR根室駅など7カ所に出入口靴底用の消毒マットを設置。

次世代を担う子育てを応援する「子ども手当」が1、9、34世帯に給付される。

夏場の勤務を快適にするため、市がクール・ビズを試行。

第22回参議院議員選挙が行われる。

平成22年で開館10周年を迎えた北方四島交流センター「ニ・ホ・ロ」が入館者40万人を達成。

根室青年会議所が「第1回軽トラ名産市」を開催し、大勢の市民で賑わう。

任期満了に伴う第15回根室市長選挙で、長谷川俊輔氏が市政史上初となる2期連続無投票当選を果たす。

記録的なサンマの不漁で開催が心配された「第18回根室さんま祭り」が、例年並みの規模で開催される。(写真⑥)

市立根室病院整備市民委員会が、最大の難門だった起債許可の見通しが立ったことを受



け、約7年半に及ぶ活動を終了。

「根室測候所」が「根室特別地域気象観測所」と名称を変えて無人化され、131年の歴史に幕を下ろす。

収集ごみのリサイクル品目の拡大などで、循環型社会と埋立処理場の延命化を目指した「ごみの新分別」がスタート。

馬淵内閣府特命担当大臣が根室市を訪れ、納沙布岬や洋上から北方領土を視察し、問題解決への意を新たにす。(写真⑦)

根室市アジア圏輸出促進協議会が招へいしたベトナム政府ミッションが根室市を訪問し、根室産サンマの魅力に触れる。後日、民間ミッションが訪れ、具体的な商談が進められる。(写真⑧)

第2回根室市議会臨時会で、ロシア大統領が国後島を訪問した問題に対し、ロシアに対

しての抗議と、日本政府に強力な外交交渉を求める決議が、全会一致で可決される。

「風運湖・春国岱」に「東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワーク」への参加証が環境省から授与され、渡り鳥にとって日本一の湿地であることが裏付けられる。

メドベージェフ・ロシア大統領の国後島訪問に強く抗議する「北方領土返還原点の声緊急集会」が納沙布岬で行われ、元島民や返還運動関係者200人余りが怒りの声を発信する。

第2回根室市議会臨時会で、ロシア大統領が国後島を訪問した問題に対し、ロシアに対

しての抗議と、日本政府に強力な外交交渉を求める決議が、全会一致で可決される。

「風運湖・春国岱」に「東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワーク」への参加証が環境省から授与され、渡り鳥にとって日本一の湿地であることが裏付けられる。

